



『明日の朝は冷えます』と
予報がでたら

給湯器の凍結破損予防を!

凍結防止方法

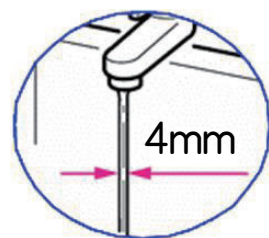
1. 給湯器の運転スイッチを「切」にする。



- スイッチを押して切ります。
- パネルが消灯します。

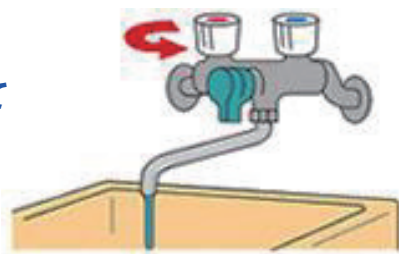
3. 流量が不安定になることがありますので 30分後に再度、流れている量を 確認して下さい。

(1分間に400CC、太さ4mmほど)



2. お湯のでる蛇口を開けて、少量の水を 流したままにしておく。

- 混合栓でもお湯が出る方にして
水をだしてください。



●この方法は、水が流れ続ける
ことで、給湯器本体だけでなく
給水・給湯配管・給水元栓なども
同時に凍結予防できます。

この方法でも、気温・天候等により凍結する場合もございます。ご了承ください。

寒い夜間に給湯器の凍結防止機能が働く場合があります

(各々の凍結防止機能付き機種に限る)

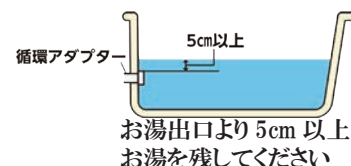
○凍結防止ヒーターの運転

給湯器内配管をヒーターで暖めて凍結を予防します。

防止機能動作中は
運転音がします。

○追い炊き配管による自動ポンプ運転

お風呂のお湯を残しておけば、追い炊き配管内を自動循環。
配管内の凍結を予防します。(追い炊き機能付き機種に限る)



凍結して水が出ないとき!

●凍結で水が出ないときは、自然に水がでるまで
お待ちいただくしか処置方法はございません。

※凍結により本体が破損したときは、保証期間内でも、有料修理となりますので、ご注意下さい。
※年式により、修理ができない場合もございます。

給水管の保温材が施されていない場合、下記まで、ご連絡下さい。
1ヶ所 ¥3,000/mで処置します。(1m以上の場合、¥1,500/mです)